119 消防だより

☎83-2119

6月の広報テーマ
『災害弱者に対する支援の推進』

災害弱者へ万全の配慮を！

『災害弱者』とは、災害が発生して身に危険が迫った場合の情報収集や避難行動に対して、ハンディキャップを持つ人のことで、主に、災害に対する備えや災害時に避難行動などが困難な高齢者や乳幼児、体の不自由な方や言葉が通じない外国人、また、土地勘のない旅行者などが対象となります。

近年、火災や地震、津波などの災害時に、災害弱者の被害が増加しています。こういった被害を最小限に食い止めるためには、家族や隣近所の人、自治会などの協力体制が必要不可欠であり、避難を一緒にするなどの配慮がとても重要となります。

災害が発生したときにどのように行動したらよいかなど、家族みんなで話し合っておくことが大切です。

次の項目を実践し、ご自身の命だけではなく、災害弱者の命も守りましょう。

1. 災害に対する知識や心構えを身につける。
2. 近隣住民同士の協力体制を構築する。
3. 災害時の避難場所や連絡先を確認しておく。
4. 避難しやすいよう家庭内外の整理整頓を心掛ける。(家具の配置など)
5. 災害袋を備えておく。
6. 困っている人には、思いやりと真心を持って接する。

豊浦消防団 (5月1日現在)

消防団本部	7名
第1分団(本町地区)	37名
第2分団(大岸地区)	17名
第3分団(礼文華地区)	21名
定員85名	計82名

4月 豊浦町火災・救急発生件数

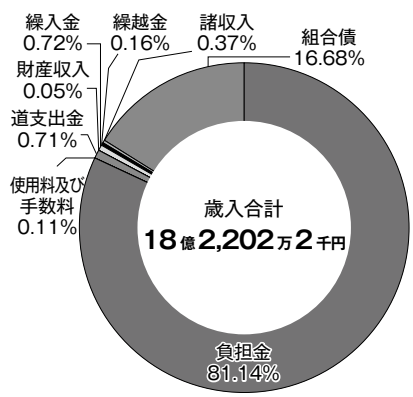
- 火災件数　0件(累計　0件)
- 救急件数 16件(累計　83件)

西胆振行政事務組合　令和２年度　予算概要

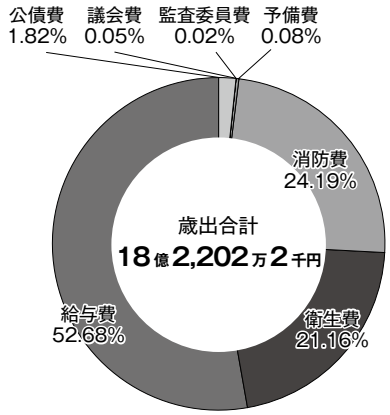
令和2年度予算が、3月に開催された西胆振行政事務組合議会定例会で議決されました。歳入では、歳入グラフのとおり、歳入に占める割合が最も大きいのが消防負担金で、構成4市町の規模(人口割、財政割)および均等割により負担率が決められています。歳出では、歳出グラフのとおり給与費が最も大きく、その他の歳出は、衛生費や消防費などに充てられます。

詳細／西胆振行政事務組合 消防本部 総務課 ☎ 21-5000

■歳　入



■歳　出



単位：千円

【歳　入】		1,822,022
1．負担金		1,487,412
(内訳)	伊達市	822,944
	洞爺湖町	307,899
	豊浦町	194,280
	壮瞥町	162,289
2．使用料及び手数料		2,185
3．道支出金		13,216
4．財産収入		949
5．繰入金		13,960
6．繰越金		3,000
7．諸収入		6,700
8．組合債		294,600

単位：千円

【歳　出】	1,822,022
1．議会費	1,259
2．監査委員費	421
3．消防費	354,448
4．衛生費	403,838
5．給与費	1,025,434
6．公債費	35,022
7．予備費	1,600